

議員提出議案第 32 号

中山義隆市長に対する問責決議

このことについて、石垣市議会会議規則第 14 条第 1 項の規定により提出いたします。

令和 6 年 9 月 17 日

提出者	花	谷	史	郎
賛成者	宮	良		操
	〃	長	浜	信 夫
	〃	砥	板	芳 行
	〃	井	上	美智子
	〃	内	原	英 聡
	〃	大	道	夏 代
	〃	田	盛	英 伸

石垣市議会

議長 我喜屋 隆次 殿

理 由

4 期の長きに渡り市政を担ってきた中山市長には、今一度初心に戻り二元代表制が何たるかを考えてもらい、市長職の責任の重さを再認識していただくため、議会として責任を問うため。

中山義隆市長に対する問責決議

令和6年9月定例会である今議会一般質問において、中山市長から内原英聡議員に対して議会を著しく軽視する発言があったことに強く抗議する。

これまでも、市長の議会への対応については多くの批判があった。

特に自席からの議員に対する野次は常態化ともいえる状況にあり、本来、執行当局の関わらない議員提出議案等の議論にも言及する始末である。

そのような中での今回の発言は、「議員の一般質問に対し、市長が質問の終了を宣言する」というものであり、議会对応として常軌を逸していると言わざるを得ない。

4期の長きに渡り市政を担ってきた中山市長には、今一度初心に戻り二元代表制が何たるかを考えてもらい、市長職の責任の重さを再認識していただくため、議会として責任を問うものである。

以上、決議する。

令和6年9月17日

石 垣 市 議 会